



国立国会図書館 招へい講演

知性と文化で世界をつなぐ：韓国国立中央図書館の取組

Connecting the World with Intelligence and Culture : Initiatives of the National Library of Korea

2026. 2. 4. (水)
韓国国立中央図書館長
キム・ヒソプ

目次

01 国立中央図書館の概要

1. 写真で見る国立中央図書館
2. 数字で見る国立中央図書館
3. 2025年の主要成果

02 国立中央図書館の未来ビジョンと今後の課題

1. 国立中央図書館開館80周年記念映像
2. AI時代、図書館と司書の役割
3. 国立中央図書館がリードするAI時代の知識主権
4. 2026年の主要推進課題
5. 参考事項



※「国立中央図書館」(국립중앙도서관)のハングルデザインをレイアウトして配置している。

01

国立中央図書館の概要

大韓民国の知識を
集め、収め、つなぐ



国立中央図書館本館



国立子ども青少年図書館



国立世宗図書館



国立中央図書館 逐次刊行物室



デジタル図書館 デジタル資料室



国立世宗図書館 子ども資料室

大韓民国を代表する
知識プラットフォーム



国立子ども青少年図書館 ロビー

1 写真で見る国立中央図書館



開かれた広場 実感体験館



AI実感書齋

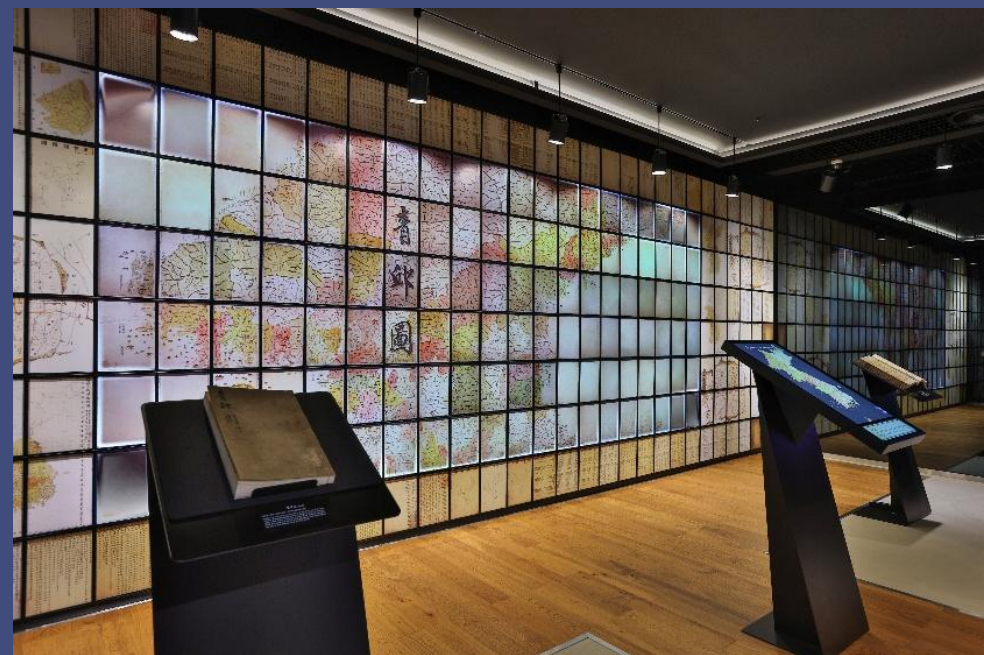


実感書齋 デジタルブック



国立子ども青少年図書館 AR体験館

未来を拓く知識の道



実感書齋 メディアウォール

1945

1,500万

2,000万

424

830万

706

130万

3,470万

1945 年開館

424 名の司書

706 名 職員勤務

130万 名 訪問利用者

1,500万 冊・点 オフライン資料

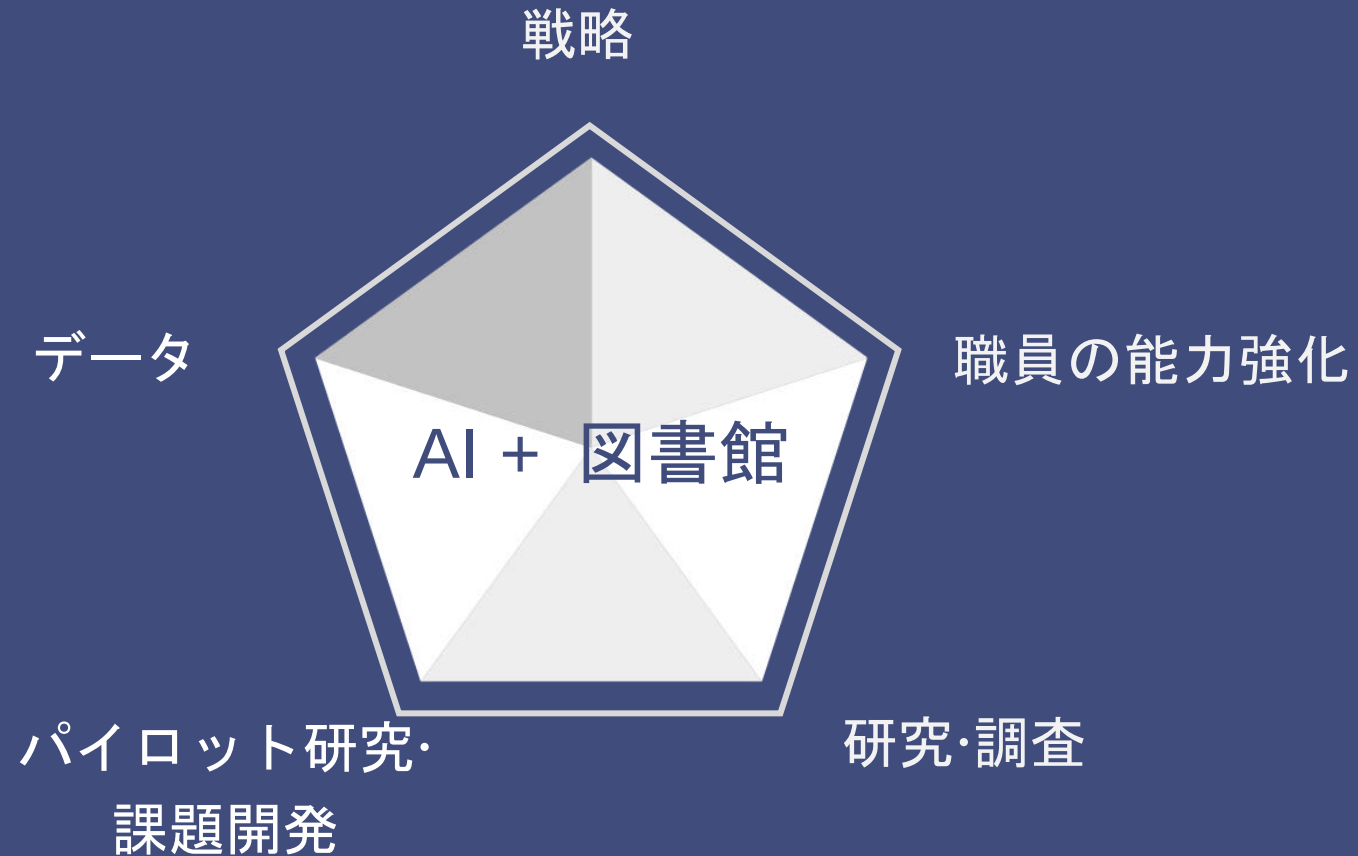
2,000万 件 オンライン資料

830万 名 HPアクセス

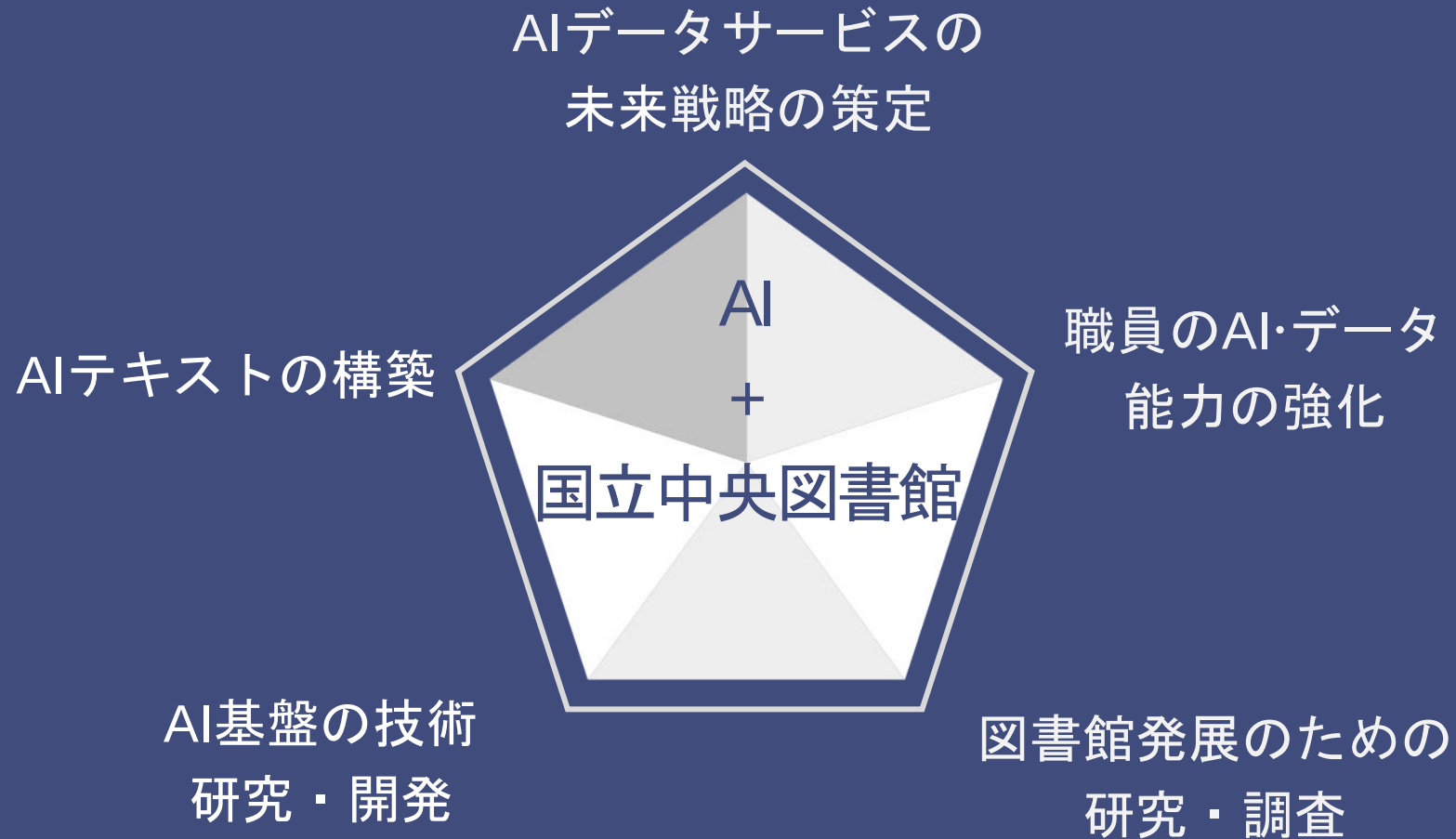
3,470万 ページビュー

出典：2024年国立中央図書館主要統計

1) AIトランスフォーメーション時代、図書館の情報環境の変化に向けた先制的な対応

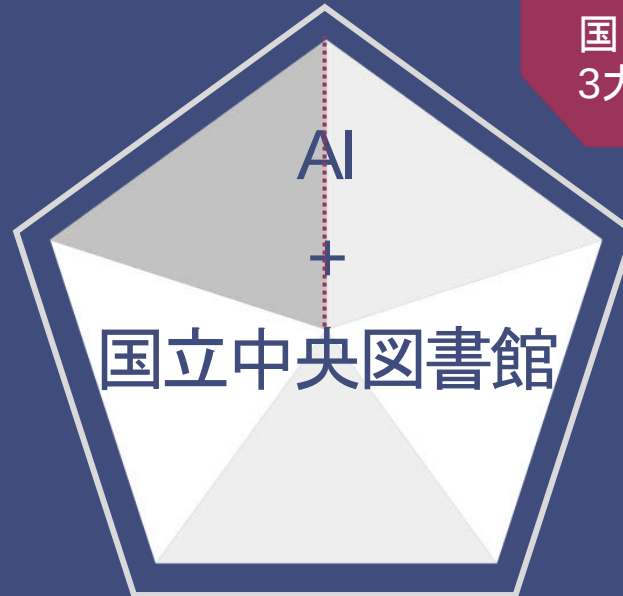


1) AIトランスフォーメーション時代、図書館の情報環境の変化に向けた先制的な対応



1) AIトランスフォーメーション時代、図書館の情報環境の変化に向けた先制的な対応

① AIデータサービスの未来戦略の策定

AIデータサービスの
未来戦略の策定

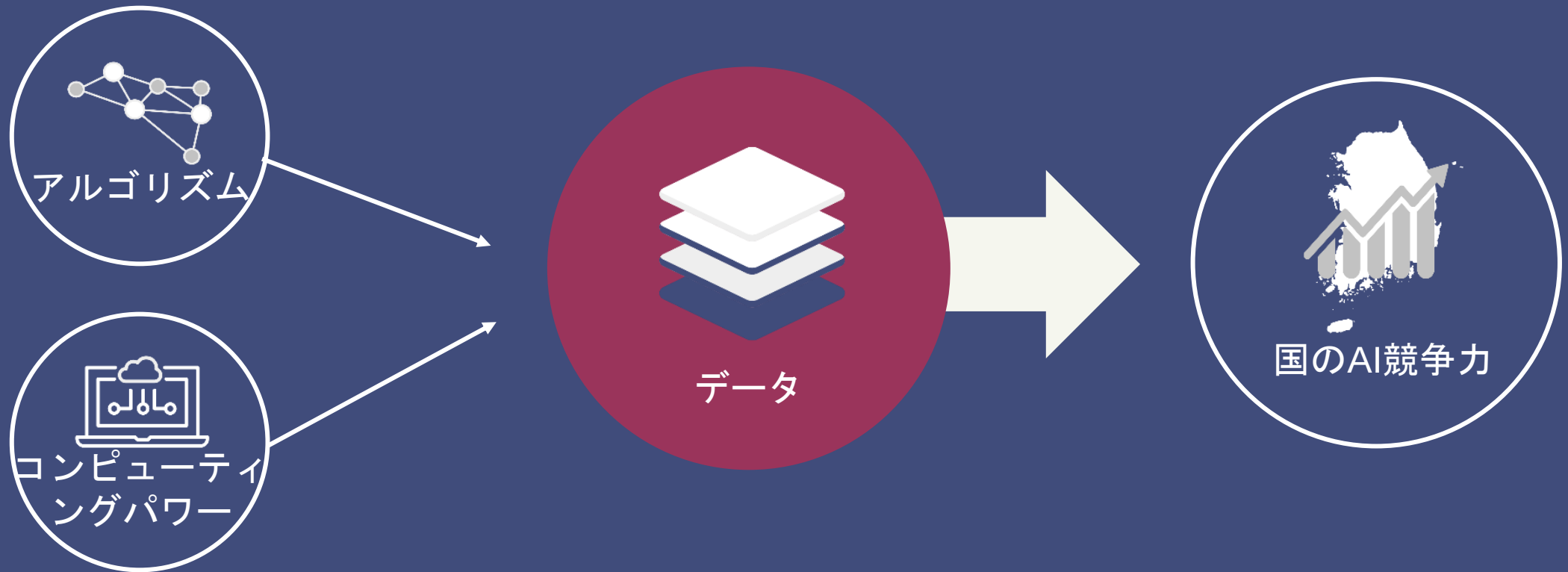
国家知識資源のAIデータ化及び拡散のために
3大核心課題、9推進課題、18詳細推進課題を策定

3

2025年の主要成果

1) AIトランスフォーメーション時代、図書館の情報環境の変化に向けた先制的な対応

① AIデータサービスの未来戦略の策定



3

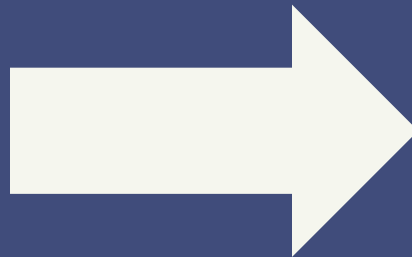
2025年の主要成果

1) AIトランスフォーメーション時代、図書館の情報環境の変化に向けた先制的な対応

① AIデータサービスの未来戦略の策定



国立中央図書館
国家知識資源



国のAIデータハブ

1) AIトランスフォーメーション時代、図書館の情報環境の変化に向けた先制的な対応

① AIデータサービスの未来戦略の策定

ビジョン

未来を拓く知識データ、みんなのAI共感プラットフォーム

核心的価値

データの信頼性

データエコシステムの
持続可能性

デジタル包摂性

1) AIトランスフォーメーション時代、図書館の情報環境の変化に向けた先制的な対応

① AIデータサービスの未来戦略の策定

3大核心課題

データエコシステムの
持続可能性AIデータ構築と活用
エコシステム造成

AIサービスのインフラ

AIを融合した図書館
サービスの開発・活用

AIリテラシー

AIリテラシーの能力強化
及び
デジタル包摂の拡大

3 2025年の主要成果

1) AIトランスフォーメーション時代、図書館の情報環境の変化に向けた先制的な対応

① AIデータサービスの未来戦略の策定

3大核心課題 / 9推進課題

データエコシステムの 持続可能性

AIデータの構築と
活用エコシステム造成

- 1 国家知識資源のAIデータライフサイクル管理体系の確立
 - 1-1. 国家知識資源のDX及び拡充の加速化
 - 1-2. AI学習データの構築及び品質管理体系の確立
- 2 国家書誌メタデータの標準転換および品質の高度化
 - 2-1. 「国家書誌2030」次世代メタデータへの標準転換
 - 2-2. AI基盤メタデータの品質管理体系の構築
- 3 データ開放とガバナンス体系の確立
 - 3-1. 国立中央図書館のデータ開放政策の策定及び管理規定の制定
 - 3-2. 国内外の主要機関のデータガバナンスの構築と協力の拡大

3 2025年の主要成果

1) AIトランスフォーメーション時代、図書館の情報環境の変化に向けた先制的な対応

① AIデータサービスの未来戦略の策定

3大核心課題 / 9推進課題

AIサービスインフラ

AIを融合した図書館
サービスの開発・活用

4 AIを活用した図書館サービスへの革新

- 4-1. 利用者サービスのサポートAIツールの開発
- 4-2. 司書業務サポートAIツールの開発

5 持続可能なAIデータ運営基盤の造成

- 5-1. 国立中央図書館人工知能データ部(仮称) 設置
- 5-2. 国家文献保存館(仮称)構築(平昌(ピョンチャン))

6 AIデータ共有・拡散プラットフォームの構築

- 6-1. 国家知識資源基盤の言語モデル開発
- 6-2. 市民参加型の知識共有プラットフォーム「共有書齋」の運営

3 2025年の主要成果

1) AIトランスフォーメーション時代、図書館の情報環境の変化に向けた先制的な対応

① AIデータサービスの未来戦略の策定

3大核心課題 / 9推進課題

AIリテラシー

AIリテラシーの能力強化
及び
デジタル包摂の拡大

- 7 AI体験・学習・議論のための国家的リーダーシップの強化
 - 7-1. 図書館AIリテラシー政策の策定・普及
 - 7-2. デジタル市民性を育むための「AIリビングラボ」プロジェクトの運営
- 8 AIノルラボ(NOL LAB)の運営・拡散及び融合サービス
 - 8-1. AI共感プラットフォーム「ノルラボ(NOL, Next Open Library LAB)」の開発・運営
 - 8-2. 対象別 AI融合知識情報サービスの開発
- 9 図書館基盤のAIリテラシー専門人材の養成
 - 9-1. AI データリテラシー専門司書の養成
 - 9-2. AIリテラシー媒介者の養成

3

2025年の主要成果

1) AIトランスフォーメーション時代、図書館の情報環境の変化に向けた先制的な対応

① AIデータサービスの未来戦略の策定



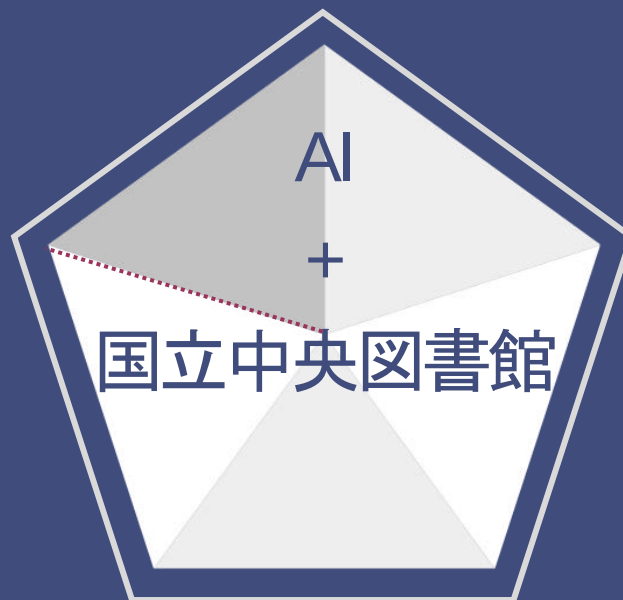
3 2025年の主要成果

1) AIトランスフォーメーション時代、図書館の情報環境の変化に向けた先制的な対応

② AIテキストの構築

AIテキストの構築

韓国固有のAI基盤構築に向けた
テキストデータなどのAIデータの構築



1) AIトランスフォーメーション時代、図書館の情報環境の変化に向けた先制的な対応

② AIテキストの構築



AIデータ

Chat GPTやGemini などの生成AIが日常化
AI技術の全方位的な広がりが予想

しかし、

不正確な情報や誤情報
偏った情報学習による副作用の懸念

したがって信頼性と専門性を備えた高品質の人工
知能学習データの重要性が浮上
図書館は人工知能のエコシステム構築に重要な役
割を担う

3 2025年の主要成果

1) AIトランスフォーメーション時代、図書館の情報環境の変化に向けた先制的な対応

② AIテキストの構築



デジタル資料の
データ化

2025年「朝光」、「文章」など
韓国近代雑誌 3種 65冊
原文画像を TXT、XML、JSONなど
様々なテキストDBを構築

AI OCRで認識し
テキストデータに変換、3,485点を構築

今後、人工知能学習データとして活用が期待される

1) AIトランスフォーメーション時代、図書館の情報環境の変化に向けた先制的な対応

② AIテキストの構築

- デジタル化した原文資料のうち、著作権処理が済んだ資料とOA学術資料を中心にAI学術データ化を行い、研究者と民間の産業界に提供予定
- 韓国固有のAIデータ基盤構築に向けたテキストデータの構築が完了(4.15億字)
 - ① AIテキストデータ(TXT, XML, JSON) 2.55億字
 - ② JATS XML基盤のオープンアクセス学術記事テキストデータ 1.6億字(論文4,000点)

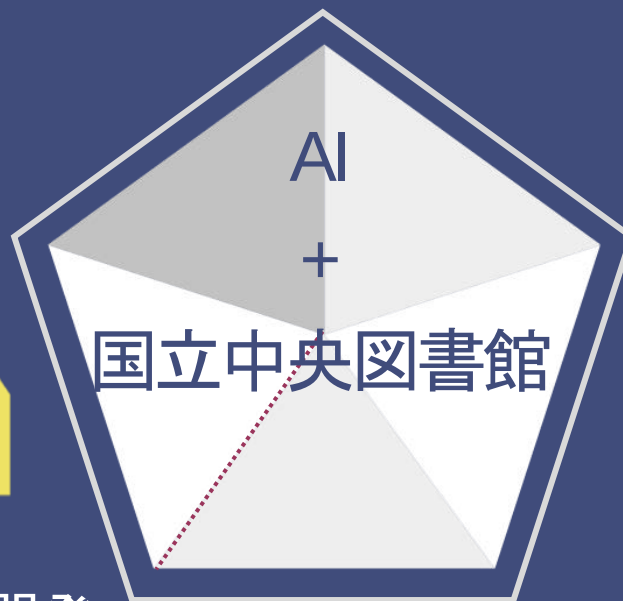
3

2025年の主要成果

1) AIトランスフォーメーション時代、図書館の情報環境の変化に向けた先制的な対応

③ AI 基盤の技術研究・開発

- 未来型図書館サービスに向け研究課題を企画
 - － 検索拡張生成(RAG) 実験研究としてAI基盤の智能型検索の導入を検討



AI基盤の技術研究・開発

3 2025年の主要成果

1) AIトランスフォーメーション時代、図書館の情報環境の変化に向けた先制的な対応

③ AI 基盤の技術研究・開発

- 未来型図書館サービスに向けた新技術 R&D課題の企画
→ 図書館新技術を活用したR&D課題を国の研究課題公募事業に応募(図書館予算外)

区分	企画・公募課題名	主管機関	担当機関
'25.1.	グローバル文化共有のための空間融合技術開発	科学技術情報通信部	韓国コンテンツ振興院
'25.2.	AI司書オープンプラットフォームの開発		情報通信産業振興院
	AI基盤の近代資料文化・教育コンテンツ開発及びプラットフォーム構築による実証・活用支援		
'25.2. ～	文化空間AXに向けた次世代Culture Techの開発		韓国コンテンツ振興院

3 2025年の主要成果

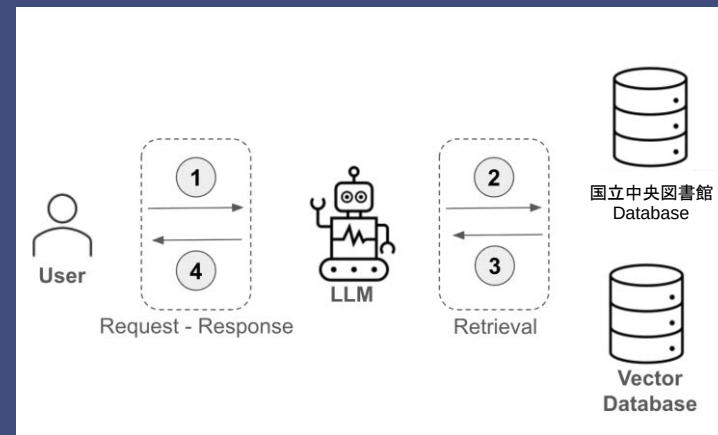
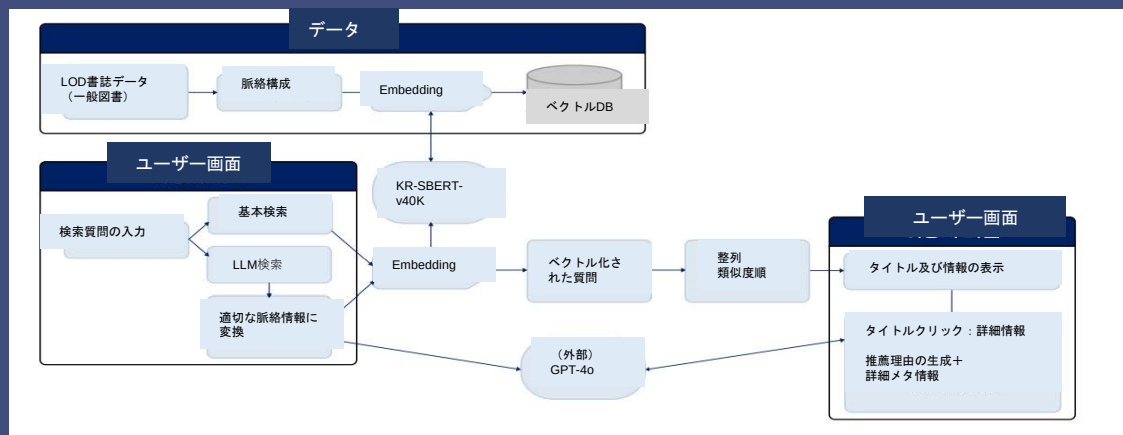
1) AIトランスフォーメーション時代、図書館の情報環境の変化に向けた先制的な対応

③ AI 基盤の技術研究・開発

- 検索拡張生成(RAG) 実験/研究を通じたAI基盤知能型検索の導入を検討

→ 単行本書誌300万冊を活用した検索拡張生成(RAG)* 検索デモの実装及び実験結果の共有

→ 知能型検索サービスの適用策の研究を実施

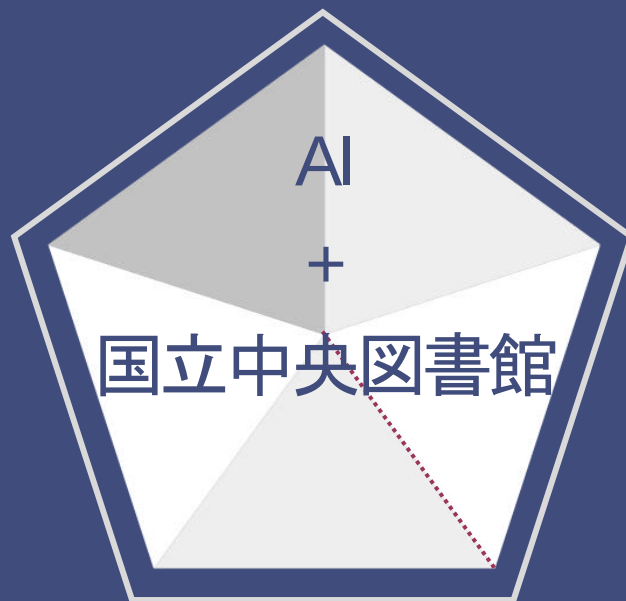


* 検索拡張生成(Retrieval Augmented Generation):

大規模言語モデル(LLM)に蓄積されたデータとは別の外部データを用いて回答の正確度を高める技術

1) AIトランスフォーメーション時代、図書館の情報環境の変化に向けた先制的な対応

④ 図書館発展のための研究・調査



- AI技術を共有・拡大するための図書館新技術動向分析資料集「ライブラリー・プラス」創刊
- 「図書館AI研究会」運営

図書館発展のための研究・調査

1) AIトランスフォーメーション時代、図書館の情報環境の変化に向けた先制的な対応

④ 図書館発展のための研究・調査

- 『ライブラリー・プラス(Library Plus)』創刊

- AI技術の共有・拡大のための図書館技術トレンド分析資料集
- 毎号最新技術をテーマに実践的ガイドと戦略的示唆を提示
- 「生成AI(第1巻第1号)」、「データと著作権(第1巻第2号)」



- 「図書館AI研究会」運営

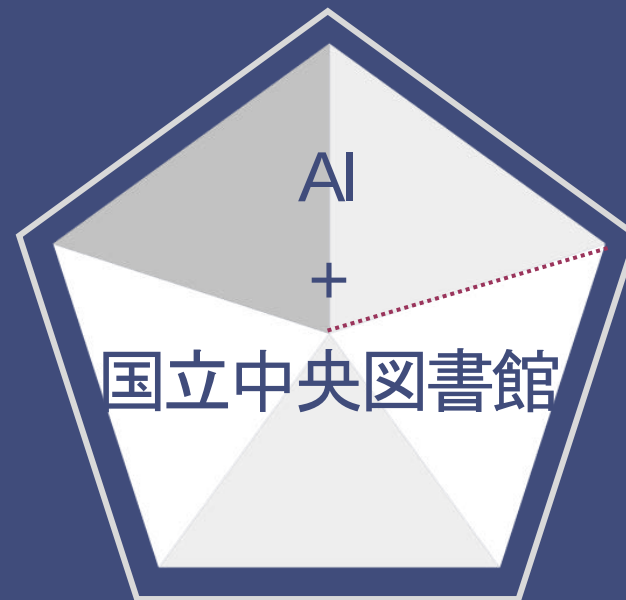
- 生成型人工知能時代における図書館の倫理面の争点分析と政策的対応策の研究課題
- 図書館の公共的価値と司書の専門性を反映した倫理フレームワークの提示

3

2025年の主要成果

1) AIトランスフォーメーション時代、図書館の情報環境の変化に向けた先制的な対応

⑤ 職員のAI・データ能力の強化



職員のAI・データ能力の強化

「新技術の活用基盤構築に向けた
図書館データ分析及び活用TF」運営

1) AIトランスフォーメーション時代、図書館の情報環境の変化に向けた先制的な対応

⑤ 職員のAI・データ能力の強化

「新技術活用基盤構築に向けた図書館データ分析および活用」TF運営

→ 主な活動：国立中央図書館所蔵の古新聞『子ども新聞』を対象にOCR校正、画像キャプション、メタデータ抽出などの実習を通じて様々なタイプのAI学習用データ構築の可能性を検討し、活用案を提示

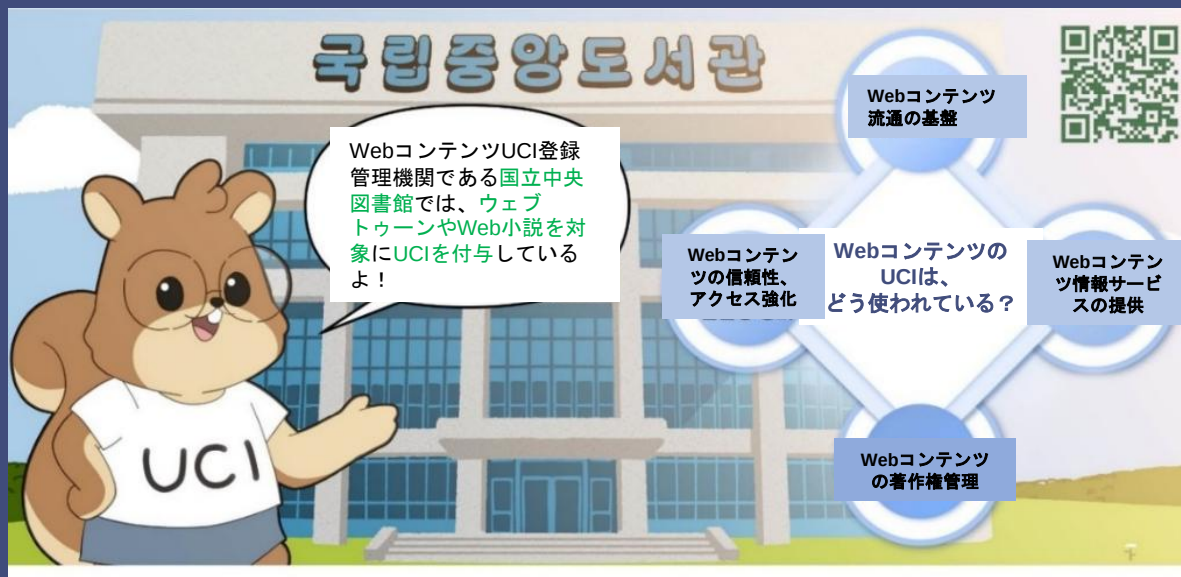
→ 意義：

- ① 図書館データのAI学習の可能性の実証
- ② 専門性を養うための特別講義・実習を並行してAIデータリテラシーと協業能力を強化
- ③ 外部専門家の諮問を通じて学習用データ構築の方向性を模索

3 2025年の主要成果

2) 標準識別体系の運営および次世代書誌構造への転換

① 連載型WebコンテンツUCI 標準識別体系の発行及び運営





詳細情報

文 000
絵 000
原作 000
分類 ウェブトゥーン/日常
発行者 000スタジオ
年齢等級 全体利用可
価格 500ウォン/回
UCI G720:T+B025-20250214001

作品情報への表示例

ウェブトゥーンお絵描きリス
000スタジオ、作家00
ウェブトゥーン/日常 700万
☆9.5
連載中

国立中央図書館、ウェブトゥーン、Web小説等の連載型WebコンテンツにUCI*を付与する登録管理機関に指定

* UCI(Universal Content Identifier): コンテンツに付与する唯一かつ永久の国家標準の識別体系

2) 標準識別体系の運営および次世代書誌構造への転換

①連載型WebコンテンツのUCI 標準識別体系の発行及び運営



1. 連載型ウェブトゥーン、連載型Web小説

－ 電子出版物の形態でオンライン上に提供される連載型ウェブトゥーンやWeb小説

2. 単行本ウェブトゥーン、単行本Web小説(電子出版物)

－ 連載型コンテンツ(ウェブトゥーン、Web小説)として先に公開したのち、単行本として編集された電子出版物

2022~2024

WebコンテンツUCI 識別体系の技術規格の整備、
UCI 登録管理システムの構築
Web小説制作会社や流通プラットフォーム会社、関連協会関係者などを対象に事前説明会を開催

2025

UCI 登録管理システムのテスト運営
UCI 制度の正式運用
UCI 標準識別体系の運営開始(49,828件)
ユーザー教育、広報、WebコンテンツUCI 制度運営協議体の構成、業務協議の開催

* Webコンテンツ流通時にUCIが発行される場合は、ISBNと同様に付加価値税(10%)が免除

2) 標準識別体系の運営および次世代書誌構造への転換

② 図書館データの標準化と次世代書誌構造への転換推進

• 推進背景

→ Web環境に合うようリンクトデータ基盤で設計された図書館データ入力及び交換標準言語として米国やヨーロッパの国立図書館を中心に適用

* 米国議会図書館(LC)を中心に開発 (2012年草案発表、2016年 2.0 発表)

→ 国立中央図書館もデータ共有と相互運用性強化のために「**BIBFRAME**」への転換を推進

* 2030年を目標に次世代書誌構造への転換に向けた「国家書誌2030」計画を策定('21年)

* BIBFRAMEの理解促進のための翻訳、解説書の制作('22年)

* BIBFRAMEへのデータ変換・分析、構造適用案の策定などに向けた関連研究の実施('24年)

2) 標準識別体系の運営および次世代書誌構造への転換

② 図書館データの標準化と次世代書誌構造への転換推進

• 推進の成果

→ BIBFRAME導入のための専門組織運営コンサルティングの推進(5~10月)

* 収集、整理、システム運営に関する実務者中心のBIBFRAME導入準備TFを構成し運営(10~12月)

→ 「韓国目録規則」第5版を反映した目録指針を整備(9~12月)

* 韓国目録規則(KCR) 5版の改訂を受け、改訂内容が反映された目録指針の研究、開発

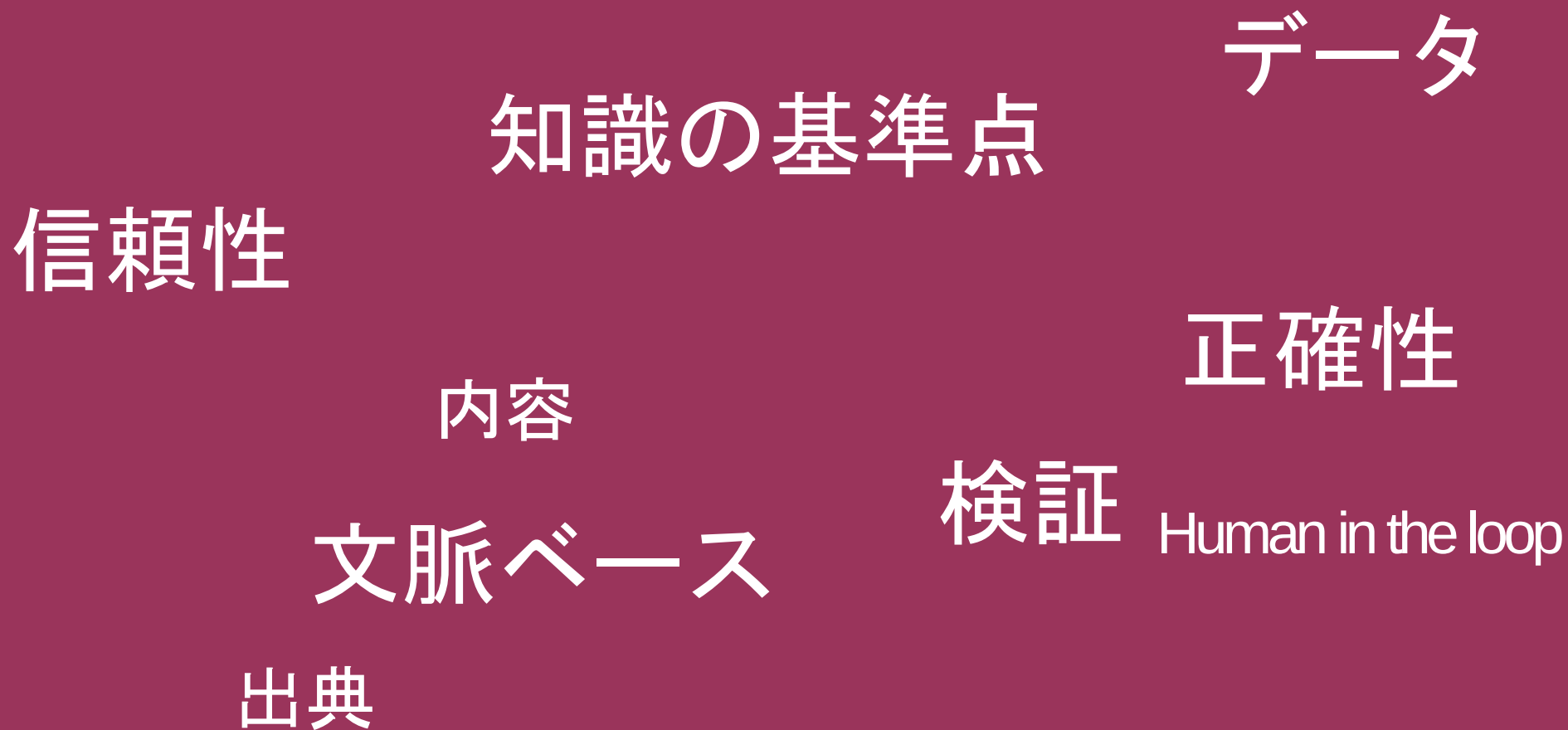
02

国立中央図書館

未来ビジョンと今後の課題



出典：国立中央図書館80周年記念広報映像
(https://www.youtube.com/watch?v=JU_UaNfAV5Q)

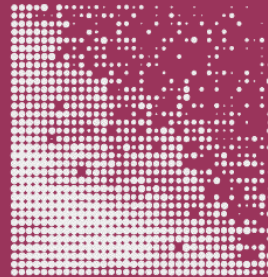


国家AIエコシステムの空白、信頼できるデータの不在



構造的限界

データの重複構築、非標準化、
信頼性のある履歴(Chain of
Custody)の不在



長期保存の不在

プロジェクト単位で生産され
ては消滅するデータ、
保存体系がない



不十分な基盤

高品質の公共学習データの
不足、深刻化する国民間の
AI 能力の格差

なぜ大韓民国国立中央図書館なのか？

**最大規模の
高品質知識資源**

検証済みコンテンツは
データ信頼性の源泉

**全国的拡大プラット
フォーム**

全国約1,200の公共図書館
ネットワークを通じたAIリテ
ラシーの広がり

データ管理の専門性

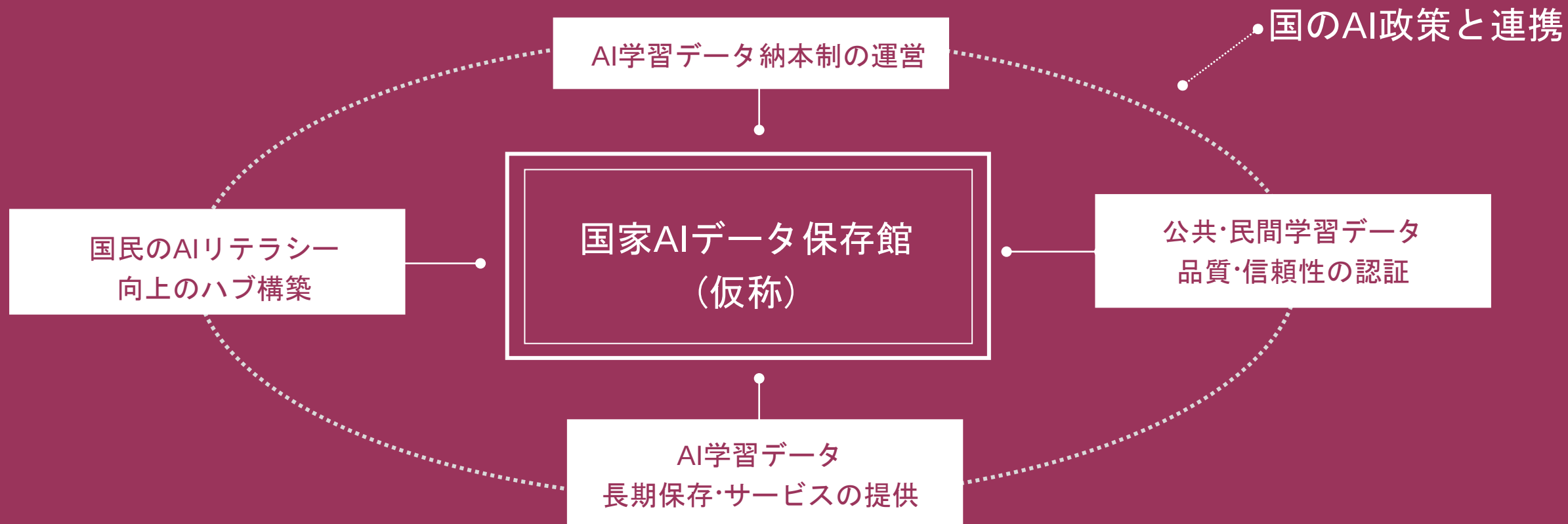
法定納本、データキュレーション
の経験や専門司書人材を保有

知識の保管場所から国家知能の発電所へ

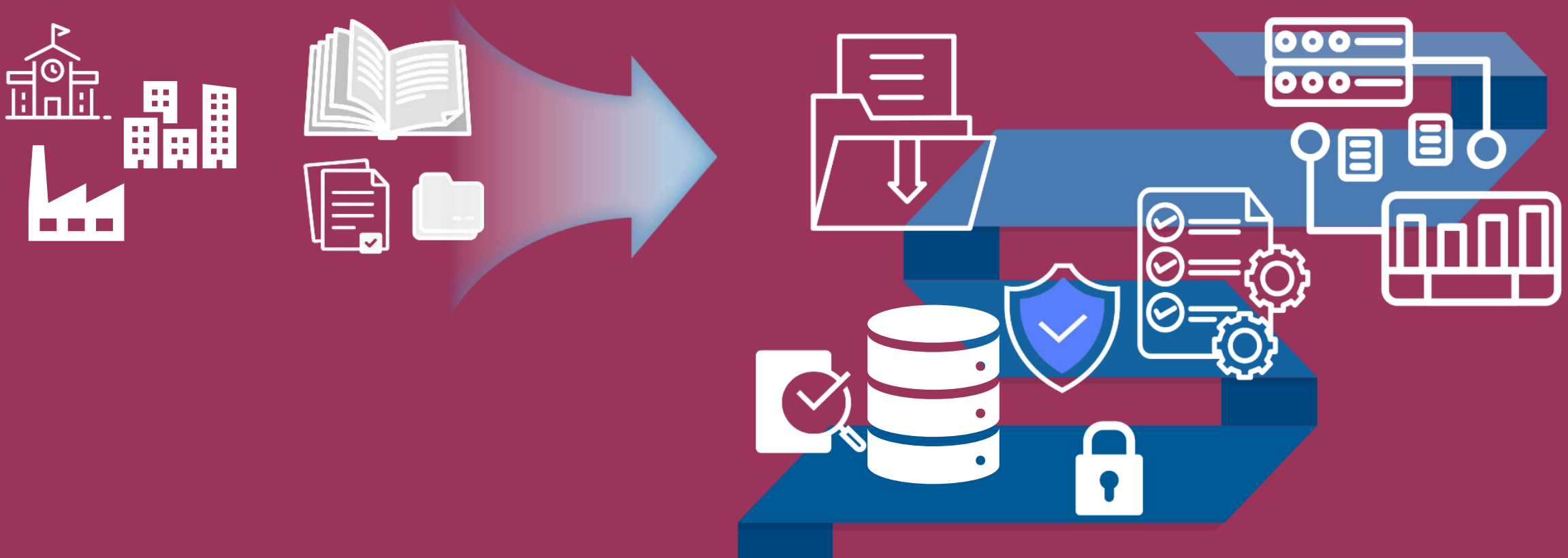
膨大な国家知識資源を高品質のAIデータへ転換・供給し、
国のAI産業の発展と競争力強化に貢献するハブへと生まれ変わる



実行戦略(案)：国家AI データ保存館の構築



信頼できる国家知識資源データの Chain of Custody 確保



期待できる効果：信頼基盤の公共AIデータエコシステムの構築



公的信頼の形成

国家機関が
データの出典と品質を総括



学習データの基盤確立

モデル開発コストの削減、
革新的サービスの促進



AI基本法の効果的施行

法施行(施行日: 2026. 1. 22.)以後
データ関連の空白を解消



デジタル包摂の実現

地域格差のない
全国民のAI能力の強化

4

2026年の主要推進課題

国の知的・文化的生活を豊かにする図書館

需要ベースの知識情報の提供

- 国の蔵書価値を高めるためのデータサービス
→ AIテキストデータ構築提供の強化

国家知識資源への差別なきアクセス提供とデジタル格差の解消

- 国民向け情報サービスの品質向上
→ 図書館に特化した言語モデル及びAIサービスの開発

国家知識資源の宝庫としての図書館

国家知識資源の収集強化

- 国家知識資源の収集基盤の構築
→ オンライン資料納本の改善

国家知識資源の保存と後世への継承

- 所蔵資料の保存・修復処理に関する専門能力強化
→ AI基盤のデジタル資源保存体系の構築

信頼度の高い図書館データの生成と提供

- 図書館データの標準化と次世代書誌構造への転換を推進
→ 次世代書誌構造 BIBFRAME 導入準備の強化

柔軟な組織運営と効率的なリソース分配

変化に能動的に対応する有機的な組織運営

- 時代の変化に迅速に対応するための研究組織の構成
→ 図書館の新技术を基盤とした実験・研究・共有の活性化
→ 業務支援AIモデル構築の開発実験研究

- 本講演で発表した「国立中央図書館AIデータサービス未来戦略」などの未来ビジョンは、推進計画(案)であり、政策当局との協議、AI基本法、著作権法など関連法・制度の改善や予算確保が前提であることをあらかじめ申し上げます。

감사합니다.

ありがとうございます！

국립중앙도서관